

## ウィズコロナ・アフターコロナ・ビヨンドコロナに向けた課題の対応（総合計画政策分野への位置づけ）

事項（対応すべき課題・潮流）	案：政策分野ごとの位置づけ（対応）						
	政策分野 1	政策分野 2	政策分野 3	政策分野 4	政策分野 5	政策分野 6	政策分野 7
<p>【医療・福祉に関する課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経済的困窮・社会的孤立による生活困窮者の増加、メンタルヘルスへの悪影響、社会的差別の増加</li> <li>・自宅で過ごす時間の増加による虐待・DVの増加、運動不足による身体機能の低下、高齢者の認知機能の低下</li> <li>・感染症への体制強化、オンライン診療の普及</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談体制の強化と充実</li> <li>・自殺者(女性)増加への対応</li> <li>・引きこもりやフレイル防止へのきっかけづくり</li> <li>・居場所づくりなど地域との関わる機会の強化</li> <li>・医療従事者に対する健康支援</li> <li>・セルフメディケーションの推進</li> <li>・PCR検査体制の強化</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍・アフターコロナにおける差別なき社会の実現とその周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活に困窮する外国人への対応及び必要な情報提供</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康アプリを活用した健康づくり（例：健幸マイレージのアプリ化など）</li> <li>・オンライン化を含めた相談体制の充実</li> <li>・正しく分かりやす情報発信</li> </ul>
<p>【教育・子育てに関する課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインやICTを活用した教育の普及による多様な学び方の浸透</li> <li>・各家庭の経済的事情による教育格差拡大と子育てへの負担の増加</li> <li>・コロナ禍が及ぼす子供のメンタルヘルスへの影響</li> <li>・経済的困窮・社会的孤立による婚姻数の減少と少子化の進展</li> <li>・テレワーク等の普及によるワークライフバランスの向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉・子育て・教育担当部署における情報共有と引き継ぎ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル教科書・教材のデジタルコンテンツ導入</li> <li>・先生への教育と支援員などの外部人材の活用、民間企業との連携</li> <li>・自己肯定感の向上を高める教育</li> <li>・オンラインの学び場充実</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン化を含めた教育相談体制の充実</li> </ul>
<p>【経済・観光に関する課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業の地方移転・地方創業の増加とその受け皿としての都市間競争の激化</li> <li>・都市から地方への移住の増加</li> <li>・経済的不況の深刻化による企業倒産・廃業の発生、労働市場の流動化による人材の選択肢の多様化</li> <li>・対面サービス需要の減少とオンライン需要の増加、電子決済の普及加速</li> <li>・店舗の撤退による市街地のオフィス空室率の上昇、リアルな接点の減少によるオフィスの役割低下</li> <li>・インバウンド需要やMICE活用状況の減少</li> <li>・域内経済循環の進展</li> <li>・一部産業の国内回帰（サプライチェーンの見直し・グローバル化の後退）</li> <li>・テレワークやWeb会議の普及、出張機会の減少など働き方の多様化</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域を見直す教育の重視と総合的学習の機会の強化</li> <li>・機会喪失に伴う、より国際色豊かな教育の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Uターン希望者の雇用支援</li> <li>・サテライトオフィスの導入、ワーケーションの推進</li> <li>・農林業施策と移住施策との連携</li> <li>・民間へのDX推進支援、ICT導入支援</li> <li>・インバウンドからマイクロツーリズムへの転換</li> <li>・観光地への十分な感染対策</li> <li>・地域に根ざす産業、それを生業とする企業の育成</li> <li>・CSR活動に積極的な企業への支援</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインツアーの開催をはじめ移住支援の強化</li> <li>・テレワーク、サテライトオフィス、ワーケーション施策と移住定住施策との連携</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子決済に対応した行政システム構築</li> </ul>
<p>【その他の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民活動や文化芸術活動の停滞</li> <li>・公共交通機関の利用者減少による交通インフラの維持負担の増大、徒歩・自転車利用者の増加</li> <li>・環境配慮への投資の減少による地球温暖化・環境汚染の進行</li> <li>・地域コミュニティの弱体化</li> <li>・社会変化に応じた有休資産の柔軟な活用</li> <li>・各種行政手続きのオンライン化・利便性の向上</li> <li>・行政部門の財政の圧迫（税収入の減少）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・機会減少に伴い、子供たちが文化に触れられるイベントのあり方を模索</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちなか屋外イベントの充実による文化芸術活動の補完</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2030年温室効果ガス排出ゼロに向けた官民による取組</li> <li>・官民連携した新エネルギー導入事例を増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Webを使った文化芸術活動の充実と場所の提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンパクトプラスネットワークのまちづくりの推進</li> <li>・地域主体運行の拡充</li> <li>・レンタサイクルなど自転車を活用したまちづくり</li> <li>・立地適正化計画に基づくまちづくりの拠点化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイナンバーカードの取得率アップ</li> <li>・行政手続きのオンライン化対象業務の拡大</li> <li>・自治会手続きのオンライン化の更なる推進</li> </ul>